

広報せとうち

SETOUCHI



瀬戸内町町制施行70周年

9 No.810
2026

写真特集

第46回みなと祭り

第67回大島地区スポーツ大会

PICK UP

- ・p.23 町制施行70周年記念第2回せとうちスポーツフェスティバル2026開催案内
- ・p.26 町制施行70周年記念事業実施に伴うご寄付のお願い
- ・p.27 台風や停電時の断水について

今月の表紙：受け継ぎ繋いでいくシマの伝統 八月踊り



町制施行70周年記念

第46回みなと祭り 開催





舟こぎ競争大会 各部門優勝チーム

小学生対抗 諸鈍小学校	中学生対抗 諸鈍中学校	集落対抗 古仁屋在住諸阿室会(2連覇)	マスターズ対抗 昭和34年生
同窓対抗 ゴッツ52(8連覇)	同窓ミックス対抗 ゲーボール	女子対抗 #清水集落B(5連覇)	オープン対抗 小湊舟勝負隊

相撲大会成績表(個人戦)

順位	選手名(部門)
優勝	龍山 精幸さん(未就学児) 吉見 紀之介さん(1年生) 角 瑚士郎さん(2年生) 川畑 颯真さん(4年生) 朝田 晟介さん(5年生)
2位	吉見 終汰さん(未就学児) 清原 湊さん(1年生) 榮 大翔さん(2年生) 永田 旭さん(3年生) 木下 丞二さん(6年生)
3位	義永 梨人さん(未就学児) 吉見 政芳さん(1年生) 吉見 比呂さん(1年生) 桑山 詩響さん(4年生) 鎌田 力人さん(4年生) 桑山 音乃さん(6年生)

八月踊り大会被表彰者

氏名	推薦団体
川上 節子 様	古仁屋八月踊り研究会
岡田 真美子 様	嘉鉄集落芸能保存会
茂岡 忠子 様	西阿室八月踊り保存会

永年にわたり、八月踊りの伝承活動を実践し、後継者育成に尽力された方々に贈られました。



瀬戸内町役員選手団



闘い抜いた夏



奄美群島内、各所で行われた大会での様子です。

7月4日~
7月26日

第67回大島地区 スポーツ大会

全22競技

それぞれに想いを込めたチームスローガン



バスケットボール競技



陸上競技



軟式野球競技



卓球競技



カヌー競技



ラグビー競技



フルコンタクト
空手道競技



弓道競技



テニス競技



男子バスケットボール競技



サッカー競技



男子ソフトテニス競技

男子ソフトボール競技



ソフトテニス競技

6月14日(日)
ダンスコンテスト出場、各部門で入賞



鹿児島市で開催された「BANARE」ダンスコンテストにSHOKO STUDIOから出場された北岡星夏さん、瀬本れなさん、小方七音さんのチームが中学生以下部門で優勝、ソロの中学生以下部門で小方さん、小学生以下部門で新田桃香さんが準優勝に輝きました。

7月29日(水)
相撲クラブ県大会優勝、九州・全国へ



瀬戸内少年相撲クラブが7月の県中学校総合体育大会相撲競技において団体2連覇を達成（高森剛樹さん、龍山逞真さん、松井理馬さん）。九州・全国大会へ県代表としての出場を決めました。個人戦ベストの部では松井さんが4位に入賞、九州大会へ出場されます。

7月24日(金)
日本最大級の野外音楽フェスに初出演



新潟県で開催された「FUJI ROCK FESTIVAL'26」へ奄美大島出身・在住者のバンド「TAKUTO AND NEKKOYABAND」が出演され、本町から中村圭太さん（ベース）と石原凱さん（サックス）が参加。雨の降る中、迫力の演奏を披露しました。

7月31日(金)
熊本地震義援金の募金箱を設置



7月28日に熊本県において発生した大地震により多くの方が被害を受けています。本町では、被災者を支援するため、義援金の募金箱を役場庁舎1階ロビーに設置しました。設置期間は10月30日までを予定しています。

義援金は、日本赤十字社鹿児島県支部瀬戸内町分区分（町社会福祉協議会）を通じて同支部へお送りします。皆様の温かいご支援をお願いします。

7月24日(金)
瀬戸内町のDXへの取組について講演



情報関連機器事業者等が出展するITフェアが鹿児島市にて開催され、専門セミナーの講師として本町から中島淳弥・元DX推進室長が登壇しました。「離島発の共創DX」と題して、聴講した多くの参加者へ業務改革や住民視点でのサービス設計等を紹介しました。

8月2日(日)
終戦の日を前に慰霊塔・供養塔清掃



県隊友会瀬戸内支部は、陸上・海上自衛隊員等と共同で、古仁屋高千穂神社内の「慰霊塔」と、森山公園内の「富山丸供養塔」の清掃活動を行いました。55人が参加し、英霊への感謝を込めて慰霊碑の清掃や草刈りを行い、最後に全員で手を合わせました。



8月13日(木) 戦没者追悼式、平和を願う

令和7年度末に町遺族会が解散され、これまで同会が主催されてきた戦没者追悼式は、今年度からは町主催としてきゅら島交流館で開催しました。遺族会会員や各団体代表者ら約50人が出席し、順に献花を行い、戦没者の御霊に哀悼の誠を捧げました。

出席者は、戦争の悲惨さを心に刻み、後世に伝え、世界中に平和が訪れるよう、誓いを新たにしました。



8月6日(木) 瑞宝双光章を受章されました

5月1日付けで泉^{いずみ}涼子^{りょうこ}さんが瑞宝双光章を受章されました。永年にわたる離島へき地教育への功績に対し贈られました。

泉さんは「教育委員会やPTA、地域の方に支えられながら教員生活を終えることができました。今できることで、支えていただいた恩返しをしたいです。」と話しました。



8月12日(水) 陸自瀬戸内分屯地新司令ご来庁

陸上自衛隊奄美警備隊普通科中隊長兼瀬戸内分屯地の新司令、谷口^{たにぐち}聡洋^{としひろ}三等陸佐が着任の挨拶のため来庁されました。

「地域の行事等にも積極的に関わりたい」とのお言葉をいただき、これまでと同様に連携していくことを確認しました。



8月12日(水) 建設業協会ボランティア清掃



瀬戸内建設業協会（伊東一宏会長）による地域貢献活動「瀬戸内町町制施行70周年記念ボランティア活動」として、30名が清掃活動を行いました。みなと祭りをきれいな街並みで楽しんでもらおうと、台風通過後に汚泥や粗大ごみであふれていた屋仁川河川と周辺一帯を清掃しました。

瀬戸内建設業協会は、年4回のボランティア活動を実施されています。



8月14日(金) 全国・九州大会で躍動(新極真会)

7月のカラテドリムフェスティバル2026(国際大会)において平香里奈^{たいからりな}さん(中2)が同大会通算3回目の優勝、8月の全九州空手道選手権大会において満貴生翔^{みつぎせいしやう}さん(中2)が準優勝、満貴晴智^{みつぎはるち}さん(小4)が第3位。全国大会への出場を決めました。

2026年09月322号

めばえ

今月の担当者
古仁屋小学校
校長 岩本 博裕

「失敗力」は一生の宝物!転んでも立ち上がれる子に育てるヒント

子どもたちは、大人から見ると毎日たくさんの「失敗」をします。転ぶ、こぼす、間違える、言い間違える、思い違える。子どもが何かに挑戦して上手いかず、泣いたり落ち込んだりしている姿を見るのは、見守る大人にとっても辛いものですね。つつい手を出して助けたいのが親心ですが、実は幼児期の「失敗」は、心と頭を急成長させる大チャンスなのです。

なぜ今、子どもたちに「失敗力」が必要なのでしょう?失敗力とは、ズバリ「ミスを恐れずに挑戦し続ける勇氣」のことです。近年、失敗を過度に恐れ、最初から挑戦を諦めてしまう子どもが増えていると言われています。失敗経験が少ないまま成長すると、ちょっとしたつまずきでポッキリと心が折れてしまったり、想定外の事態に柔軟に対応できなくなったりしてしまいます。

手厚くサポートしてあげられる幼少期だからこそ、「失敗しても大丈夫なんだ」「次はどうすればいいかな?」と試行錯誤する経験をたくさん積ませてあげることが、将来の「生きる力」に直結するのです。

○ 「失敗=ダメなこと」という呪縛を解く関わり方

では、子どもの失敗力を育むために、大人はどのようにサポートすれば良いのでしょうか。ポイントは「過程を認め、一緒に考える」ことです。

・ 「結果」より「姿勢」を褒める

「すごい!できたね!」も嬉しい言葉ですが、失敗した時こそ「最後まで諦めずに挑戦したね」「前よりずっと惜しかったよ!」と、努力したプロセスにスポットライトを当ててみましょう。

・ 「最初は誰でも失敗するよ」と魔法の言葉をかける

子どもは「次もまた失敗するかも……」と不安になりがちです。「自転車も何度も転んで乗れるようになるんだよ」と、続けることの大切さを伝えてあげてください。

・ 大人の「失敗談」をカミングアウトする

子どもにとって大人は完璧な存在に見えています。「お母さんも今日お皿を割っちゃってね」「お父さんも仕事で間違えちゃったんだ」と話すことで、子どもは「失敗してもいいんだ」と安心できます。

○ グッと我慢!親が気をつけたいNGな対応

子どもの失敗を目の当たりにした時、大人がやってはいけないのが「感情的に叱ること」「ため息をつくこと」そして「代わりに解決してしまうこと」です。親が先回りして障害物を取り除いてしまうと、子どもが自力で問題を解決するチャンスを奪ってしまいます。ヤキモキする気持ちをグッとこらえ、「どうしたら次は上手いかな?」と、隣で一緒に作戦会議をするサポーター役に徹してみてください。

○ 失敗を怖がるのは、心が順調に育っている証拠

4歳頃になると、過去の記憶(エピソード記憶)が発達してくるため、「前も失敗して嫌だったな」と思い出し、挑戦を怖がるようになることがあります。これは決して後ろ向きなことではなく、脳と心が順調に成長している証拠です。

無理強いせず、「失敗しても大丈夫だよ」と繰り返し伝えながら、子どもが自分のペースで一步を踏み出せるように見守ってあげたいですね。

10月の担当は

児童発達支援事業所 『ここ園』です。



教育委員会 社会教育課
生涯学習係 本田 ☎ 72-2905



図書館・郷土館だより



7月の図書館利用状況（開館日数：本館 27 日・移動図書館 19 日）
 【貸出冊数】 3,230 冊（-604 冊） 【利用者数】 666 人（+46 人）

一般書の新着



『ブティック』
 池井戸 潤/著
 銀行入行 3 年目でエリート街道を歩んでいた雨宮秋都は、ある案件をきっかけに、理不尽な戦力外通告を受けてしまう。退職を決意した雨宮が見つけた新たな希望とは…。

『ふたりの読書会』 向井 和美/著
 『地図でスッ頭に入る日本をとりまく同盟と対立』 村山秀太郎/監修
 『僕は、そして僕たちはどう生きるか』 梨木香歩/原作
 『まる丸伊勢参り』 畠中 恵/著

児童書の新着



『野生生物は「やさしさ」だけで守れるか?』
 朝日新聞取材チーム/著
 生態系のバランスを保ち豊かな自然環境を維持するために、日々悩みながら命と向き合う人々取材し、人と生きものとの共生の在り方を問う。

『あの空を』 菊田 まりこ/著
 『かいじゅうのすむしま』 谷口 智則/作
 『焼けあとのおにぎり』 うるしばら ともよし/作
 『サイコーの通知表』 工藤 純子/著

イベントのお知らせ

★図書館友の会

日時：9/6(日) 14:00~15:00
 場所：図書館 1 階作業室
 今月は新聞エコバッグ作りの予定です。

★セカンドブックおはなし会

日時：9/13(日) 10:45~
 場所：図書館 1 階絵本コーナー
 3歳のお子さんから楽しめるおはなし会です。

★おはなしのじかん

日時：9/20(日) 10:30~11:00
 場所：図書館 1 階絵本コーナー
 いろいろなおはなしを用意しています♪

★絵本のカタリバ

日時：9/23(水) 14:00~15:00
 場所：図書館郷土館2階 視聴覚室
 祝日特別版、ということで大人から子どもまでだれでも参加できます♪

郷土小話

「小名瀬」の語源

瀬戸内町の小名瀬（こなぜ）集落。シマぐちで「ナディガマ」ともいいます。この語源を考えてみましょう。まず、名瀬といえば、奄美市名瀬を思い浮かべます。なぜ「名瀬」というのか？『名瀬市誌』では「魚瀬（なせ）」説と「空地（な一じ）」説もあげつつ、中央部にあたるという意味の「中地（な一じ）」説を紹介しています。しかし、「中央部」と書くと何か政治経済の中心を思わせるので、もう少し説明が必要です。これは地理的な中間位置にあるという意味での「ナハジ」から「ナージ」に変化したと考えられます。瀬戸内の小名瀬は、大島海峡のほぼ中間位置です。奄美市名瀬も北と南の中間です。地名語源は考えるとおもしろいですね。



小名瀬の海岸にて。深い入り江とマングローブの風景。

火曜日～土曜日 9:00～18:00 / 日曜日・祝日 9:00～17:00						
月	火	水	木	金	土	日
8/31	9/1	9/2	9/3	9/4	9/5	9/6
	加計呂麻		移動図書館			図書館友の会
9/7	9/8	9/9	9/10	9/11	9/12	9/13
休館日	大島		移動図書館	新着		セカンドブックおはなし会
9/14	9/15	9/16	9/17	9/18	9/19	9/20
休館日	加計呂麻		移動図書館			おはなしのじかん
9/21	9/22	9/23	9/24	9/25	9/26	9/27
休館日	大島	絵本のカタリバ	移動図書館	新着		
9/28	9/29	9/30	10/1	10/2	10/3	10/4
休館日	加計呂麻					

上記の予定は、状況次第で中止になる場合があります。ご了承ください。

お問い合わせ：図書館 Tel 0997-72-3799 / 郷土館 Tel 0997-72-1600



ももだより

自主自立 敬愛和協 明朗端正 勤勉誠実

鹿児島県立古仁屋高等学校
〒894-1508
鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋399番地1
[TEL]0997-72-0034 [FAX]0997-72-0057
<https://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/koniya/>

インターンシップ

2年生を対象に7月8日～10日の3日間、島内の事業所でインターンシップを行いました。合計3タームの実習をとおして、協調性や勤労観を養い、地域の課題に対する考えを深め、自己の進路について考える機会にしてほしいです。



【協力事業所】 ※順不同・敬称略

多機能型就労支援事業所いすわん THE SCENE スローガイド奄美
ゼログラヴィティ清水ヴィラ 高丘保育所 瀬戸内町埋蔵文化財センター
瀬戸内町郷土館 瀬戸内町図書館 とうとがなし企画 ダンデライオン奄美
瀬戸内徳洲会病院

シーカヤックマラソンIN加計呂麻大会

7月5日、瀬戸内町で開催されたシーカヤックマラソンIN加計呂麻大会で、本校生徒が選手やボランティアとして参加しました。地域の方々との交流を通して、協力することの大切さを学ぶ貴重な機会となりました。



奄美の自然体験学習

7月10日、1年生を対象に住用の奄美大島世界遺産センターとマングローブ林を訪れました。今年で世界自然遺産登録5年目を迎える奄美の豊かな自然や生態系について学び、環境保全の大切さを実感する貴重な機会となりました。



クラスマッチ

7月16日、クラスマッチを開催しました。男子はサッカー、女子はバドミントンの競技を行い、優勝を目指して熱戦が繰り広げられました。仲間への声援や協力を通して、クラスの団結力が高まった一日となりました。



表彰式・生徒会認証式・終業式・大掃除

7月17日、終業式をリモート形式で行いました。各種表彰や生徒会認証式も行われ、生徒達はそれぞれの成果を称えらるとともに、今後の活動への意識を高めました。式後は大掃除に取り組み、校舎をきれいに整えて1学期を締めくくりました。



旧生徒会執行部



新生徒会執行部



全商ビジネス文書
実務検定1級代表者



体カテスト成績優秀者
各学年代表



中学生一日体験入学

7月24日、体験入学を実施しました。中学生は学校紹介や探究活動発表、部活動見学などをおして、本校での学びや高校生活への理解を深めました。



東大サイエンスキャンプ

東京大学大気海洋研究所サイエンスキャンプに本校生徒1名が参加し、「瀬戸内町久慈白糖工場跡出土煉瓦の科学分析」について研究・発表を行いました。

